平成25年度　グランドデザイン　阿賀野市立安野小学校

教育目標	進んで学ぶ子（知）	思いやりのある子（徳）	たくましく伸びる子（体）
重点目標	**進んで学び，表現する**	**自分と友達を大切にする**	**健康を考えて生活する**

具体的な五つの目指す姿と教育活動

○自分の考えを伝え合い、やりぬく子
○基礎・基本が身に付いている子

【子どもたちの取組～教育活動】

①自分の考えを持ち，相手に伝えることができます。
〔目標〕肯定的評価をした児童の割合
→80％以上

②国語・算数のワークテストで、2教科とも全国平均を上回る学力を身に付けます。
〔目標〕全国平均を上回る児童の割合
→65％以上

③「10分×学年」の家庭学習に取り組みます。
〔目標〕肯定的評価をした児童の割合
→80％以上

【教職員の取組～運営活動】

①授業研究を通して，考えのもたせ方や話し合いの組み立て方について学期に2回以上の研修会・研究授業を行い指導します。

②互いの考えに対する質問や付け足し等，話し合うのルールを作成し授業で指導します。

③家庭学習カードを使い家庭学習の指導を毎月指導します。

④全校国語テスト・算数テスト・Webテストを計画して実施します。結果をカードで報告します。

⑤「知育便り」等を毎月発行し，家庭学習の充実を目指して家庭との連携を図ります。

○明るく受け応えする子

【子どもたちの取組～教育活動】

①友達にやさしく接することができるよう、明るいあいさつや相手・時・場にふさわしい言葉遣いをします。
〔目標〕「友達にやさしく接することができた」という児童の自己評価　→85％以上

【教職員の取組～運営活動】

①あいさつ・ふわふわ言葉など、具体的な場面の違いに応じた言葉遣いについて、月別目標を設定して繰り返し指導をします。

②友達との関係作りを通して自己肯定感をたかめるよう、縦割り班活動や生活目標にあわせて、学期に2回、強調週間を設定し，指導します。。

③家庭との連携を図るため、[徳育たより」等で，学校生活の成果や課題を毎月お伝えます。

○正しい生活リズムを身につけた子
○進んで運動に取り組む子

【子どもたちの取組～教育活動】

①「安野っ子元気アップ作戦」に取組み，正しい生活リズムを身に付けます。
〔目標〕「安野っ子元気アップ作戦」で，よりよい生活に近づいた自己評価
→80％以上

②うがい・手洗いを習慣し，「はてな」をいつも身に付けています。
〔目標〕清潔な生活に関する自己評価
→80％以上

③体力テストの結果を生かし、上体起こし・長座体前屈を中核に、児童の体力向上を図ります。
〔目標〕体力テストの結果が前回を上回る児童の割合　→70％以上

【教職員の取組～運営活動】

①重点期間を設定し「安野っ子元気アップ作戦」を学期に1回、年3回実施します。

②生活の健康面からの改善を目指した食育便り・保健便りを毎月発行し，家庭との行動連携を図ります。

③体育の授業ではカードなどを工夫し準備運動の質を高め運動量を確保します。

【特別支援教育の推進】
　学級における「個別の指導計画」の作成と活用，関係機関との連携による支援体制を作り，特別支援学級の充実と通級指導教室の活用等により，違いを認め合い，共に楽しく生活する基盤としての「人間関係づくりの能力」の育成に取組みます。

【いじめや問題行動，不登校への取組】
　教育活動と道徳の指導の関連を図り、生活指導の充実に努めます。週２回の日常的な子どもに関する情報交換や年３回の子どもを語る会の実施により，よりよい自分を作り出す「自己指導能力」の育成に取組みます。

【笑顔にあふれる学校づくり】
　教育活動を実践し，地域・保護者との架け橋となる「学校便り」の発行とホームページの更新をします。
安野小学校ＰＴＡ・安小の子どもを守る会との連携，学校評議員会・学校保健委員会の開催により，児童・学校職員・保護者・地域の方と共通理解を図り，学びと育ちが実感できる笑顔あふれる学校づくりに努力します。

【2011　阿賀野市の教育の重点】
自立：基礎基本と問題解決力の育成に努める。
共生：互いの良さに気付き、支え合い、学び合う心の育成に努める。
信頼：学校を開き、地域・保護者と行動連携を図り教育課題を解決に努める。

【新潟県　学校教育の重点】
1　学力向上の取組の充実
2　豊かな心を育む道徳教育の推進
3　「いじめ見逃しゼロスクール」の推進
4　知力向上の取組の充実
5　特別支援教育の充実

【保護者・地域からの願い】
◎生きて働く学力の向上
◎友達と仲良く生きる知恵の獲得
◎「伝え合う・聞き合う・話し合う」ことによる学校・家庭・地域の連携強化